

調整等が円滑に進められるよう行政を交えた研修会等を実施する。

○生活支援体制整備に向けた実務者研修

実施回数 全体研修 1 回 圏域別研修会 5 回

対象者 市町村担当課長、担当者、生活支援コーディネーター

内容 生活支援体制整備事業の概要

協議体とコーディネーターの機能と役割 等

講師 生活支援コーディネーター及び生活支援サービスについて
見識を有する者

○アドバイザー派遣

実施回数 10 市町村各 4 回派遣

【参考】・令和 2 年度実績 1 市

内容 協議体の運営方法

住民団体等との協議会や検討会でのアドバイス

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10 保険者機能強化推進交付金

(4) 類似事業の有無

有：地域での支え合い活動団体支援（地域福祉課所管） 等

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,248	講師謝金
旅費	1,372	講師費用弁償、職員業務旅費
需用費	39	消耗品費、会議費、印刷製本費
役務費	45	電話代、郵送代
その他	180	会場使用料
合計	2,884	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」

1-3 介護予防・生活支援サービスの体制強化

(2) 事業主体及びその妥当性

平成 27 年度から各都道府県で実施することとされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 市町村における生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーターの資質を向上させるとともに、市町村組織との連携を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

生活支援体制整備を推進する生活支援コーディネーターの資質向上を図るための事業であるので、数値目標になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。 内容 圏域別生活支援コーディネーター研修会（5圏域） アドバイザー派遣 1市に派遣 成果 市町村において生活体制整備事業の趣旨等の再認識を図ることができ、推進に向けての意識の醸成がみられた。
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>高齢者数が増加していく中、生活支援サービスのニーズも増大するとともに、介護予防の観点からも元気な高齢者の社会参加を促していく必要があるため、ボランティアの養成等を行うコーディネーターの資質向上が必要。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 市町村における生活支援サービスの提供体制構築のため、引き続き継続。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	